

地域漁業学会

会 報

【発行】

地域漁業学会 学会事務局
〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4
新共立ビル (株)共立 (担当:三角誠司)
TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047
E-mail: jrfs@kyoritsu-online.co.jp
http://jrfs.org/

No. 103

2018年1月

— 目 次 —

1. 新会長挨拶 山下東子
2. 地域漁業学会に参加して
 - 1) 金智薫会員
 - 2) 吉村健司会員
3. 編集委員会からのお願い、投稿規定・投稿要領改訂のお知らせ
4. 第59回第59大会総会議事録
5. 事務局からのお知らせ
 - 1) 会員情報の登録と更新のお願い
 - 2) 会費納入のお願い

1. 新会長挨拶

地域漁業学会のさらなる発展に向けて

地域漁業学会会長 山下東子

2017年10月28-29日に開催された地域漁業学会第59回大会の総会において、会長に推挙していただきました。今回の学会大会の開催地であった大東文化大学・経済学部にて勤務しております。このたびは大勢の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。会場となる教室の変更やパソコンの不具合など不手際をおかけしましたことを発表者を始め関係の皆様にお詫び申し上げます。

さて、本学会は田和前会長のもとで事務局の鹿児島大学から広島・愛媛大学への移転と一部外注化(共立さん)、会員現況の精査、それに基づく理事人数の見直しなどの改革が行われました。長きにわたって事務局を務めていただいた鹿児島大学の会員諸氏に御礼申し上げますとともに、新し

い事務局にお骨折りいただいていることを感謝申し上げます。

当学会は大会と学会誌の発行を主な活動としております。学会誌の方は、昨年より一般報告を論文化する「報告論文」のジャンル新設など、より迅速に、かつ多くの論文を発表できるよう体制が整えられています。社会科学の分野から良質な研究を発表する場として、引き続き当学会をご活用下さい。会員の皆様が研究発表の場・議論の場として積極的に当学会を活用していただくことで、地域漁業の研究をさらに発展させていけるものと確信しております。

2. 地域漁業学会に参加して

(1) 大会印象記

愛媛大学大学院博士後期課程修了 金智薫

日本と韓国、両国の水産業は漁業就業者の高齢化や後継者不足という危機に直面している。両国はそれぞれの事例を検討し他山の石にする必要がある。このような場となった第59回地域漁業学会のミニ・シンポジウムは深い意味があったと考えられる。韓国の研究者としてミニ・シンポジウムを通じて分かったのは、次のようである。日本の漁村地域は依然として漁業とそれとの関連産業が経済の中心となる場合が多く、漁業を通じて衰退する水産業や漁村地域の経済活性化を図ろうとしているのが分かった。それゆえ漁業就業者の35%以上を占める高齢漁業者に対する研究が先行されてきたと考えられる。日本の各研究を通じて感じたのは「人」に対する研究が活発に行われていることである。年齢や所得に一律的に基準を定め、それに及ばないと補助金を支援する制度や政策ではなく、まずは高齢漁業者という人を研究対象とする。すなわち高齢漁業者の役割を再確立し、彼らがどのような漁業と生活をしているか、引退した高齢漁業者がどのような生活をしており、なぜ辞めたのか、さらに高齢者漁業者が働ける場を作るプロジェクトなどの詳細な研究が進められてきた。一方、今まで韓国では、漁業従事者に対する研究は後継者不足問題に偏っている。特に、UJIターンなどの新規漁業者を誘致する政策などが中心となったが、政策の効果は期待とは違い新規漁業者の増加は明確でなく、高齢漁業者による漁業が維持されているのが実情である。しかし高齢漁業者の漁業生産力や漁村の経済への寄与、これからの役割に対する研究は不十分である。それゆえ韓国でも高齢漁業者の操業の現況と問題点を多角的に論じる必要があると考えられる。

(2) 地域漁業研究の「多様性」を再認識

東京大学 吉村健司

2017年10月28日、29日にかけて第59回地域漁業学会が大東文化大学において開催された。初の東京開催となった大会に2年ぶりに参加した。私自身、本学会以外にも地理学や人類学関連の学会にも参加しているが、近年、漁業関連の発表は非常に少ないものとなっており、若干、肩身が狭い思いをしている。そうした研究動向のなかで、本学会では（当然のことながら）漁業関連のみの報告で、様々な視点から議論が繰り広げられ、二日間じっくりと漁業研究に浸ることができる。こうした環境は、他にはなく漁業の研究に従事する身にとって非常に貴重な場といえる。

今大会では、19件の報告が行われた。報告は漁業史、資源利用・管理、経済分析といった内容で、事例地域は日本以外にも東南アジア、オセアニア、アフリカと多岐にわたり学会の特徴が表れている。報告内容は、特定の学問分野に縛られず、非常に多角的な視点で、毎回のことながら非常に多くの勉強をさせていただいている。また同時に、改めて地域漁業がもつ多面性、多様性を認識させられた。

シンポジウムでは「定置網漁業の今日的評価」というテーマに、5件の報告が行われた。私自身、2017年4月より岩手県においてサケに関する調査を行っている。日々の調査活動の中で定置網漁業について非常に興味を持っていただけに、今回のテーマは個人的に非常に新鮮であった。また、報告の中でも岩手やサケに関する事例もあり、非常に身近なテーマで勉強になった。

今大会では個人の発表はなかったが、非常によいモチベーションを与えていただき、大変有意義な大会参加となった。次回はこのモチベーションを個人発表につなげていきたい。

3. 編集委員会からのお願い、投稿規定・投稿要領改訂のお知らせ

昨年の12月、理事会のメール審議にて新しい投稿規定・投稿要領が承認されました。以前のものとは大きく変わっております。詳細は、学会HP、<http://jrfs.org/toko.html>、をご確認ください。

①論文投稿は、すべて、電子メールとなりましたので、ご注意ください。

②論文のメール投稿先は、すべて、編集事務を取り扱っている(株)共立となりましたので、ご注意ください。

③論文の受付〆切期日は、以下のとおりです。

第1回：2018年1月9日(火)17時、

第2回：同年2月13日(火)17時

「シンポ論文」：2018年3月20日

各シンポ報告者の原稿〆切はシンポ総括責任者の指示にしたがってください。

通常の投稿論文、研究ノート、実態調査等は、随時、受け付けております。

投稿規程・執筆要領については、学会HPをご確認ください。

4. 第59大会総会議事録

2017年10月29日(日)、大東文化大学にて総会を開催しました。田和正孝会長による開会挨拶に引き続いて、以下の議題について議論しました。

議題1 第59回大会運営について

事務局より、第59回大会(東京：大東文化大学)の実施にいたる経過報告があり、了承された。

議題2 第58期事業報告について

事務局および関係委員会より事業活動報告が行われ、了承された。

1) 事務の外部委託について

(1) 中・四国部会の理事を中心に事務局移転に

ともない、5月1日より、学会誌及び会報の発送、会費請求と徴収、会員情報の管理、会計事務等については、株式会社共立に外部委託することとした。(契約は毎年更新)

契約日 2017年4月21日 年間 500,000円。

(2) 編集委員会についても部分的に事務委託を行うこととした。(契約は毎年更新)

契約日 2017年6月15日 年間 200,000円。

なお、本年8月1日より9月30日までは月割り計算 33,334円。

(3) 収入支出の日常的な管理は共立、事務局担当が請求書等をチェック、最終決済は田和会長が行う体制を整えた。

(4) 事務委託に伴って、事務局を共立内におくことにした。あわせて銀行口座を変更した。

本部事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4

新共立ビル (株)共立 内 (担当:三角誠司)

TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047

2) 会員勢力の確認、新入会員・退会会員の確認
事務局移転に伴い、会員名簿等を再確認した結果、当初人数208名であった。連絡不明者、4期以上の滞納者、帰国留学生、等会費の長期滞納者を含む退会処理を行った(暫定期末会員数は170名)

3) 会報発行は2号、HP更新等を実施

会報発行、HPの更新状況について報告があり、了承された。

4) 学会賞選考委員会の活動

今期はいずれの賞も該当者なしであった。

5) 学会誌編集委員会の活動

投稿状況、編集作業、印刷作業の進捗状況について報告があり、了承された。

6) 国際交流委員会の活動報告があり、了承された。

7) 震災対応特別委員会の活動があり、了承された。また、今期をもって委員会を解散することが提案され、了承された。

8) 各部会の活動

九州・沖縄、中国・四国、近畿、東海・北陸、関東、東北・北海道の各部会の活動が報告された。

議題3 第58期決算報告、会計監査結果報告

別紙1の第58期決算書(案)にもとづき報告がなされた。会計監査の結果が報告され、了承された。なお、期途中で会計処理の事務を委託することになったので、前期、後期にわけて会計を処理した(前期:2016年10月1日~2017年4月30日、後期:2017年5月1日~9月30日)

議題4 学会賞選考委員会選挙の実施

理事会にて、亀田、工藤、日高、山下の4名が選出されたことが報告され、了承された。

議題5 第59期事業計画について

1) 事務局より、広報関係、事務局体制維持のための簡単なマニュアルを作成、事務局内に研究分野を担当するスタッフを配置することが提案され、了承された。

2) 各種委員会の活動計画について

(1) 学会賞選考委員会、(2) 学会誌編集委員会、(3) 研究企画委員会、(4) 国際交流委員会、の活動計画について報告があり、了承された。

議題6 第59期予算案について

別紙2にもとづき予算計画が提案され、了承された。

議題7 新理事の選任について

理事会より新理事候補が提案され、了承された。詳細は、<http://jrfs.org/riji.html>、ご参照ください。

議題8 会長選出

新理事の互選により、山下東子(大東文化大学)、を新会長に選出し、了承された。

以上

5. 事務局からのお知らせ

1) 会員情報更新、メール登録をお願いします。

すでにお問い合わせをしておりますが、メール登録をしていただくようお願いいたします。(メールの配信数は多くはいたしません)。メールアドレスの変更、住所変更は、WEB上でできます。

<http://jrfs.org/nyukai.html>

このページの入会・変更の箇所をクリックしてください。入会希望の方には、いつでも登録できる、とお伝えください。また、ご自身がメール登録をしているかどうかの確認もできます。

不明な点がございましたら、ホームページ上の問い合わせメールでお願いします。事務的なことについては、共立のご担当者がおこたえいたします。

2) 会費納入のお願い

第59期会費納入、過年度分についても納入をお願いいたします。

請求書については改めて発送する予定にしております。

地域漁業学会

<http://jrfs.org/>

本部事務局 株式会社共立内
〒104-0033 東京都中央区新川 2-22-4
新共立ビル (株)共立 内
(担当: 三角誠司)

TEL: 03-3551-9896 FAX: 03-3553-2047

郵便振替: 01750-0-83886

銀行振込: 三菱東京UFJ銀行

新富町支店 普通 0146078